

自分からきたえよう 頭・心・体

おだか



南相馬市 小高区4小学校

学校便り

第 4 号

2020.6.26

2ヶ月遅れの歯科検診

6月11日（木）に歯科検診が行われました。歯科検診は本来ですと4月に実施予定でしたが、臨時休業で延び延びになり、この時期になってしまいました。どの児童も行儀よく並び、きちんと間隔をとり、大きく口を開けて検診を受けていました。学校歯科医の今村先生からは「受診の態度がよくて、楽しく診察できました。」とおほめの言葉をいただきました。



むし歯があると噛む力が弱くなり、食べたものをうまく消化できなくなったり、痛みが伴えば学習にも大きな影響が出たりします。歯科検診の結果はすでに保護者の皆様に通知しておりますので、

むし歯があった場合には早期に歯科医院へ通院するようにしてください。

家庭学習強化週間について

6月24日（水）から、家庭学習強化週間が始まりました。家庭学習強化週間とは児童自身が自分の学習課題を知り、めあてを立てて、自分から学習に取り組む態度を育成することを目的としています。学習で一番大切なことは子どもたちの「自分から進んで取り組もう！」という主体性です。自分から進んでという態度が身につけている子は将来の夢に向かって主体的に努力ができる子だと思っています。そして、この姿勢を身に付けるためには家庭学習への取組が大変重要となり、お家の方の協力がなくてはなりません。お忙しい中ですがよろしくお願いたします。

また、家庭学習強化週間には「ノーディスプレイ」ということで、テレビやスマートフォン、ゲーム、インターネットを使用する時間を短くしていこうという取組みも含まれています。過日の新聞には、オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」の深刻化が懸念され、消費生活相談センターへの相談が増加していることが掲載されていました。新型コロナウイルス感染症による外出の自粛や休校の影響が深く影を落としているようです。この機会に、ゲーム等の使用について、ご家庭で一度話し合ってみることも大切だと思います。

2020年（令和2年）6月22日（月曜日） (18)

ゲーム障害 相談機能強化

消費者庁 初の体制整備方針

オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」の深刻化が懸念され、消費生活相談センターへの相談が増加していることが掲載されていました。新型コロナウイルス感染症による外出の自粛や休校の影響が深く影を落としているようです。この機会に、ゲーム等の使用について、ご家庭で一度話し合ってみることも大切だと思います。

トラブル相談 過去最多

消費生活相談センターへの相談件数は、ゲームに関する相談が過去最多となった。特に小学生の相談が増えている。相談内容は、ゲームのやり過ぎによる生活リズムの乱れ、金銭的被害、個人情報の流出などが中心。相談者からは「ゲームを止めたい」という声が多く、相談員は「親御さんと一緒に話し合い、適切な対応を促す」としている。

小中学生に課金、事件も

小学生がゲーム内で課金したという相談も増加している。相談員は「保護者に知らせ、適切な対応を促す」としている。

（本紙記者取材）

年	相談件数
2011	300
2012	400
2013	500
2014	600
2015	700
2016	800
2017	900
2018	1000
2019	1500

＜6月22日付 福島民報記事＞